

事業名	代表者所属	島根大学 教育学部
07KJ-10	代表者	教授 秦 明徳
平成 19 年度全国地学教育研究大会・日本地学教育学会 第 61 回全国大会島根大会 ジュニアセッション	開催地	松江市
	助成金額	10 万円
活動概要		
日時: 8 月 18 日(土) ~8 月 19 日(日)		
場所: 島根大学教養棟 2 号館		
対象: 高校生、大学生、教員、地学教育学会会員		
参加者(人) 180		
内訳(小中高の先生 100 人)(生徒 30 人)		
内容: 地学教育にかかわる口頭発表、ポスター発表		
口頭発表 4 件、ポスター発表 5 件		



サツマイモ文化とゼオライト



宍道湖の蜃気楼



鳴き砂海岸のポスター発表



蟠竜湖の成因

事業の目的・ねらい

高校生がプロの研究者や教育者の前で講演する機会を提供することにより、地球科学についての学習・研究活動をより活性化せるきっかけを得るとともに生の地学を知ってもらい、地学そして理科や科学の楽しさを感じてもらうことも重要な目的とする。また、参会者に、高等学校で停滞傾向にある地学分野の教育の楽しさや、可能性について考えていただく機会とする。

事業の概要

大会1日目にジュニアセッションとして4件の口頭発表を行った。ポスター発表は、地学教育学会の会員による発表と同一会場にて、合同で実施し、5件の発表を行った。

1. ジュニア口頭発表

J01 鳴き砂の研究

柳梁孝英・樋野康障・川村洋喜(島根県立大田高等学校地球科学部)

J02 謎の湖幡竜湖の成因を解明する

岡崎臣・尾木紘之(島根県立益田高等学校理数科3年)

J03 宍道湖の屢気楼の分析

阪本佑・森脇崇史・谷口未来・松本萌美(島根県立松江東高等学校)

J04 サツマイモ文化に関するゼオライトの研究

泉原理・佐々岡素子・椿純一(島根県立矢上高等学校)

2. ジュニアポスター発表)

JP01 鳴き砂の研究

柳柴孝英・樋野康障・1 村洋喜(島根県立大田高等学校地球科学部)

JP02 謎の湖幡竜湖の成因を解明する

岡崎臣・尾木紘之(島根県立益田高等学校)

JP03 宍道湖の屢気楼の分析

阪本佑・森脇崇史・谷口未来・松本萌美(島根県立松江東高等学校)

JP04 気象現象のシミュレーション

江川大貴・妹尾有未・野津裕佑(島根県立松江東高等学校)

JP05 サツマイモ文化に関するゼオライトの研究

泉原理・佐々岡素子・椿純一(島根県立矢上高等学校)

結果及び効果

本ジュニアセッションは、19年度の全国地学教育研究大会のプログラムの一つとして実施した。本企画は、島根県の高校からの全面的協力により実現した。島根県における高校地学教育は、科目としての授業がほとんど実施されていないという厳しい環境の中に置かれているにもかかわらず、課題研究や部活動では、意欲的で優れた研究活動がなされていることが、本企画を通して明らかにすることができた。本ジュニアセッションについては、新聞やテレビによる報道がなされるとともに、県内外の多くの参加者を得ることができたことも、今後の地学教育・理科教育の進展に寄与できることを期待できるものとなった。